

SNS使用の注意指導を

講演会等で啓発に努める



吉川 淑子 議員
(新 生 会)

問 岩手県内では昨年度、小中学校、高校等をはじめ5750件と調査を始めてから最も多くなった。こうした中、教育関係者など会議を開き、対策などについて意見を交わし、その中でカウンセラーを設置するなど相談体制を進めている。近年、ツイッター等の使用による痛ましい事件が起きているが、本町における、いじめについての実態はどうであるのか伺う。また、教育的立場から、小中学生等若い人たちにSNSの使用の危険性や注意指導に取り組むべきと考えるが。

佐々木教育長 文部科学省が実施した「児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の諸課題に関する

調査」における町内小中学校のいじめ認知件数は、28年度は104件。また、SNSの使用に係る注意指導については、各学校において児童生徒および保護者を対象とした講演会等を開催するなど啓発に努めている。

箱山教育次長 携帯端末の所持率は小学5年生の段階で64%である。本年度、生涯学習課で行っている家庭教育学級の中に情報モラル等をテーマに置き、小中学校の保護者・家族等へSNSの危険性や取り組みの重要性を伝えている。



SNSの危険性や取り組みの重要性を伝えています

透析患者の通院支援を 慎重に検討する

問 透析患者は定期的な治療が必要不可欠である。家族が通院に対応できる場合はいいが、タクシー等で通院治療する患者は生活が困窮すると嘆いている。通院するため何か支援が必要と思うかどうか。

佐藤町長 透析治療患者に対する交通費に係る助成には、身体障害者手帳の提示によるタクシーやバス運賃等の割引があるが、町独自の助成制度はない。今後、高齢者人口の増加に伴い透析患者や要介護者が増えていくことが予想されることから、必要な支援について、慎重に検討していく。

その他の質問

- ◆ 交通安全について
- ◆ 荒川地区土地改良について
- ◆ 荒川白山集会所について